

# もし、いま災害が起きたら…

☎ 055(948)1482  
危機管理課

**4. 防災マップを活用しよう**  
伊豆の国市防災マップには、地震発生時の注意点や、家庭でできる防災対策、避難所の情報などが掲載されています。自宅や通学先、通勤先の周辺にある避難所を確認して、災害時に自分や家族がどのように行動すればいいのか考えてみましょう。



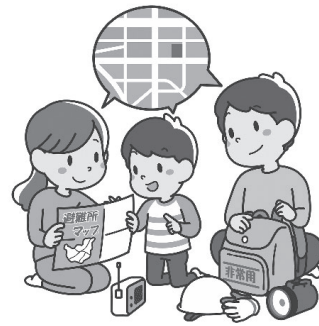
9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。市では、9月4日(日)に総合防災訓練を実施します。各地区の訓練に積極的に参加しましょう。  
地区ごとの詳細な訓練内容などは、地区の回覧などで確認してください。

**2. 家族の安否確認方法**  
災害時は電話がつながりにくくなります。家族の安否確認の方法を決めておきましょう。また、災害時伝言ダイヤル「171」は、電話がつながりにくい状況になった場合に利用できる「声」の伝言板です。次の日程で体験利用ができます。  
○毎月1日、15日  
○8月30日～9月5日(防災週間)  
○1月1日～3日(正月三が日)  
○1月15日～21日(防災とボランティア週間)

**3. もしもケガしたら？**  
災害発生時、伊豆の国市では3か所の救護所が開設されます。各病院で医師が不在になる可能性があるため、災害時に負傷した場合には、救護所に向かいましょう。  
【救護所一覧】  
○ 葦山福祉・保健センター (四日町302-1)  
○ 伊豆の国市立長岡幼稚園 (長岡1212)  
○ 伊豆の国市立田京幼稚園 (田京238-21)

## ◆地震に備えよう！

**1. 1週間分の備蓄を**  
南海トラフ巨大地震は静岡県だけでなく、広い範囲に被害が及ぶことが想定されています。広域災害が発生した場合、救援物資の到着に日数がかかることが予想されます。水や食料を1週間分は備えておきましょう。  
○ 水は1人1日3リットルが目安  
○ 調理せず食べられる非常食、缶詰やレトルト食品、カップ麺などの日常の食料品を多めに購入し、備蓄しておくことも有効です。



**緊急地震速報**  
・すぐに身を守る  
・机の下にもぐり、頭を保護する  
・慌てて外に飛び出さない

**地震発生**  
・火の始末をする  
・扉や窓を開けて、出口を確保する

**揺れがおさまったら…**  
・靴を履く  
・ブレーカーを落とす  
・家族、隣近所の安否確認、救助

テーマは『わたしのイチオシ！伊豆の国の12景』

# 令和5年度 伊豆の国市民カレンダー 掲載写真を大募集!!



☎ 055-948-1412  
メール info@city.izunokuni.shizuoka.jp

▲市民カレンダー写真掲載イメージ (変更する場合があります)

来年度の市民カレンダーに掲載する、皆さんの「お気に入りの風景」の写真を大募集します。市内で撮影された写真であれば、風景、人物、イベントなど、どのような写真でもかまいません。詳しくは、募集内容をご覧ください。



▲応募写真例

**応募期限**  
12月16日(金)



## 募集内容

- 【写真規格】**  
6ツ切り程度以上のカラー横向き写真(1人3点まで、組み写真不可)  
※3MB以上でなるべく大きいサイズの写真推奨。  
※カレンダーはB4サイズを想定しています。
- 【応募作品】**  
平成31年4月1日以降に、応募者自身が市内で撮影した写真で未発表のもの(例/狩野川と富士山、公園で遊ぶ子ども、花火大会など)
- 【申込方法】**  
メール、持参、郵送(必着)で次の事項を明示し、12月16日(金)までに写真(データまたは現像写真)を添付して申し込みください。  
<必要事項(様式は問いません)>  
題名、撮影時期、撮影場所、住所、氏名、電話番号、写真とともに掲載するコメント(100文字程度)

- 【当選発表】**  
市で選考を行い、当選者には直接通知します。
- 【注意事項】**  
①被写体の肖像権などには十分注意し、応募者自身の責任において、応募写真の使用上発生する問題を全て解決したうえで応募ください。  
②応募作品は掲載用に大きさの編集やトリミングをすることがあります。また、印刷により色合いなどが多少変わることがあります。  
③応募作品の著作権は、撮影者に帰属します。また、市民カレンダーへの掲載有無に関わらず、市HPや市公式SNS、広報紙などに掲載する場合があります(使用時は撮影者の氏名を表示)。そのため、応募作品について市がPRのために自由に使用することについては、応募をもって同意したものと判断します。